

第2回 北海道医療ソーシャルワーカー協会 全道大会

開催要綱

大会テーマ

後継者問題を考える
～到達すべき実践像と伝統（スキル）の伝承～

日 時：2019年11月2日（土）10：00～15：45

場 所：札幌市教育文化会館（札幌市中央区北1条西13丁目）

大会長：一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会会長 木川幸一

主 催：一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

第2回 北海道医療ソーシャルワーカー協会 全道大会

後継者問題を考える ～到達すべき実践像と伝統（スキル）の伝承～

日時：2019年11月2日（土）10:00～15:45

場所：札幌市教育文化会館

先着150名 参加費2,000円（学生無料）

講師 北星学園大学教授 伊藤新一郎

ソーシャルワーク専門職養成の課題と展望
～新たな社会福祉士養成カリキュラムは教育・実践をどう変えるのか～

他プログラム
学生セミナー
シンポジウム
実践・研究報告

申込
北海道医療ソーシャルワーカー協会事務局
Fax：011-563-7219

問合せ
KKR札幌医療センター調査研究部 木村
Tel：011-832-3260

開催概要

名 称： 第2回 北海道医療ソーシャルワーカー協会 全道大会

大会テーマ： 「後継者問題を考える ～到達すべき実践像と伝統（スキル）の伝承～」

大会趣旨： 近年の少子高齢化の進行、生産年齢人口の減少に伴う社会問題が顕在化するなか、ソーシャルワークに求められる実践力やその期待はより高まっています。一方で、少子化も相俟って同職を志す学生数が10年前の半数以下まで減少するなど、いわゆる「なり手不足問題」が深刻化しています。本大会では「実践力（カリキュラム変更から見える到達像）」について学ぶとともに、「魅力ある職種（目指したいと思える専門職像や働く環境）」について、その在り様や課題について検討する機会とします。

日 程： 2019年11月2日（土）10：00～15：45

大 会 長： 木川幸一 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長（北海道がんセンター）

主 催： 一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

会 場： 札幌市教育文化会館（札幌市中央区北1条西13丁目）<https://www.kyobu.org>

参加費用： 2,000円（当日受付にて徴収します） ＊学生無料

問合せ先： KKR 札幌医療センター医療社会事業相談室 調査研究部 木村府佐子

Tel：011-832-3260 Fax：011-832-9624

Mail：f.kimura@kk-r-smc.co.jp

備 考： 託児サービスあり（先着5名程度）費用2000円（申込み締切10月22日）

委託先予定 株式会社スマイルクルー札幌支店

○大会プログラム

午前

会場	9：30～	10：00～10：15	10：15～10：30	10：30～12：00	12：00～12：45
303号	受付	開会式	ラダー活用法	講演	休憩
403号	学生セミナー				

午後

会場	12：45～13：55	14：05～15：45	17：30～
303号	シンポジウム	実践・研究報告	懇親会



大会長あいさつ 全道大会開催について

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会
会長 木川幸一

紅葉の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は当協会の活動に格別のご理解とご協力をいただきまして、心よりお礼申し上げます。

この度、当協会において「第2回北海道医療ソーシャルワーカー協会全道大会」を開催致します。本大会ではテーマを「後継者問題を考える～到達すべき実践像と伝統（スキル）の伝承～」と致しまして、後継者問題について会員の皆様と一緒に検討する機会にしたいと思っております。ご登壇いただく演者の皆様にはお忙しい中準備等いただきまして厚くお礼申し上げます。

講演には、北星学園大学教授伊藤新一郎先生をお招きし、「ソーシャルワーク専門職養成の課題と展望～新たな社会福祉士養成カリキュラムは教育・実践をどう変えるのか～」をテーマに御高説いただきます。その他のプログラムについてはシンポジウムにて「後継者問題から考えるソーシャルワーカーの未来」について、指定演題も6演題の発表をいただきます。その他学生セミナーを開催し、大会終了後には懇親会も予定しておりますのでぜひご参加下さい。昨年に引き続き、対象年齢や人数に限りはありますが、託児サービスも準備しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

最後になりますが、大会の企画・準備をいただきました、運営委員会の皆様に感謝申し上げます、また会員の皆様にとって有意義な大会となりますよう、皆様のご協力とご参加のお願いを申し上げます。

プログラム

《開会式》

10 : 00～10 : 15

大会長あいさつ 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 会長 木川幸一

《ラダー活用法》

10 : 15～10 : 30

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 研修部長 松原俊輔

《講演》

10 : 30～12 : 00

座長 社会医療法人禎心会 サービス付き高齢者向け住宅ら・かるま 岩内敏晃

[テーマ] ソーシャルワーク専門職養成の課題と展望

～新たな社会福祉養成カリキュラムは教育・実践をどう変えるのか～

講師：伊藤新一郎（北星学園大学教授）

《シンポジウム》

12 : 45～13 : 55

[テーマ] 「後継者問題から考えるソーシャルワーカーの未来」

<内容>

ソーシャルワーカーの未来を考えたときに後継者問題は重要な課題と考えます。しかしながら私たち現場はこの後継者問題の全体像を的確に把握できているのでしょうか。また、後継者問題に向けた効果的な取り組みを行えているのでしょうか。

本シンポジウムでは後継者問題の全体像を概略的に整理した上で、そこにはどのような課題があるのかについて教育者及び現任者より発題してもらいます。さらにはソーシャルワーカーを目指す学生のソーシャルワーカーに向けた期待や不安などの本音を聞きつつ、フロアとも意見交換を行いながら参加者全員で後継者問題について考える機会とします。

座長 畑亮輔（北星学園大学准教授）

シンポジスト 畑亮輔（座長兼）

上田学（新さっぽろ脳神経外科病院）

北星学園大学学生 2～3 名

《実践・研究報告（指定）》

14 : 05～15 : 45

座長 真栄病院 橋本恭尚

1. 長期入院透析患者の家族背景 ～現状とソーシャルワーク介入～
仁榆会病院 佐藤 美耶
2. 急性期整形外科単科病院におけるソーシャルワーク ～ミクロ・メゾ・マクロの実践から～
札幌南整形外科病院 保科里香
3. 「高齢者虐待対応マニュアル」改訂版作成の経緯と概要について
イムス札幌内科リハビリテーション病院 沼田考広
4. 回復期リハビリテーション病棟における退院支援の質の向上に向けた取り組み
花川病院 富居潤一
5. 精神保健福祉士の長期入院患者の退院支援に関する検討
なるかわ病院 山村哲
6. 若年性脳卒中者の集いの場をつくりたい！～ポラリスカフェ in 札幌～（仮）
札幌溪仁会リハビリテーション病院 花田真衣

《学生セミナー》

10 : 00～12 : 00

プログラム1 先輩 MSW からの講話

「医療ソーシャルワーカーとして就職して（仮）」 苫小牧市立病院 成田恵梨香

[内容]就職して間もない MSW から仕事の内容ややりがいについてお話を聞く機会です。

プログラム2 医療機関分野別相談会

[内容] 急性期・回復期・療養・緩和ケア・在宅医療・老健の6分野の MSW 業務や職場環境などについてブースに分かれて直接説明を聞くことが出来ます。今後の就職を意識した情報収集をする機会になればと考えております。